

中 恵菜 (NAKA Meguna) Viola

京都市出身。4歳よりヴァイオリンを、21歳でヴィオラに転向。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンマスター課程修了。Quartet Amabileのヴィオラ奏者として、2016年第65回ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位に入賞、合わせて委嘱新作特別賞を受賞。第10回横浜国際音楽コンクールアンサンブル部門第1位、第12回ルーマニア国際音楽コンクールアンサンブル部門第1位、コカ・コーライストジャパン賞を受賞。第4回京次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。2019年ニューヨークで開催されたThe Young Concert Artists International Auditionsにて優勝。マルタ・アルゲリッチ、ダン・タイソン、クジシュトフ・ヤブウォンスキの各氏と共演。これまでに、ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス、ヴィオラスペース、IMUSE Music Festival in Enghien, MMCJ、プロジェクトQ、霧島国際音楽祭、ミュージックアカデミーinみやぎ等で研鑽を積む。

またヴィオラスペース、宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、北九州国際音楽祭、ほか多数出演。第5回 次代へ伝えたい名曲今井信子ヴィオラリサイタルにて、今井信子氏と共演。CHANEL Pygmalion Days 室内楽アーティスト。Music Dialogue アーティスト。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・パッシオ」他、出演。国内オーケストラの客演首席奏者を務める。これまでに、ヴァイオリンを久保良治、ヴィオラを佐々木亮、ヴァルター・キュスナーの各氏に師事。室内楽を磯村和英、原田幸一郎、徳永二男、堤剛、山崎伸子、毛利伯郎、山口裕之の各氏に師事。

使用楽器は京次コレクションより特別に貸与された Montagnana.

北端祥人

デュオリサイタル
123
Mitake Sayaka Salon (vol.85)

中恵菜 &



photo © Fairad

グールドをして「現代の数少ない
真のフーガの名手」と言わしめた
ヒンデミットの謎解きを、
オールヒンデミットによる
プログラムによって！

オールヒンデミット プログラム



photo © Ayane Shindo

Viola × Piano

2021年 6月5日(土)

14:30 開場 / 15:00 開演 入場料: 会員 4,500円 / 一般 5,000円 / 学生 2,500円 (全席自由席)

<プログラム>

P. ヒンデミット:

バレエ音楽《気高い幻想》より 瞑想曲 (1938)

ヴィオラソナタ Op.25-4 (1922)

ヴィオラソナタ ハ長調 (1939)

無伴奏ヴィオラソナタ Op.25-1 (1922)

ヴィオラソナタ ヘ長調 Op.11-4 (1919)

*プログラム等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。



北端 祥人 (KITABATA Yoshito) Piano

大阪府出身。2016年、第6回仙台国際音楽コンクール第3位のほか、日本ショパンピアノコンクール、リヨン国際ピアノコンクール、リスト国際ピアノコンクール等、国内外において数多くの賞を受賞している。京都市立芸術大学、同大学院を首席で修了後渡独し、ベルリン芸術大学修士課程リスト科を経て、同大学室内楽科を修了。

ソリスト、または室内楽奏者として日本・ヨーロッパ各地で演奏を行う。西本幸弘氏(仙台フィルハーモニー管弦楽団・九州交響楽団 コンサートマスター)と共演したCD「VIOLINABLE vol.5」「同 vol.6」がFONTECより、TRIO VENTUS「シューベルト&ショスタコーヴィチ」が日本アコースティックレコーズよりリリースされている。

これまでに佐々木弘美、大川恵未、椋木裕子、上野真、マルクス・グローの各氏に師事。

2020年度より東京藝術大学附属音楽高等学校の非常勤講師として、後進の指導にあたっている。



グールドをして“現代の数少ない真のフーガの名手”と言わしめた ヒンデミットの謎解きを、オールヒンデミットというプログラムによって!



“ヒンデミット”という作曲家の名前を聞いて、どんなイメージを持つだろうか。不人気?難解?渋い?
バッハのように超絶な“耳”をもった現代の作曲家…?

そんなイメージが先行するが、なかなか生演奏としては聴く機会に恵まれないヒンデミット。
しかし、生演奏でヒンデミットを注意深く聴いてみると、音の造型の全てに道理があり、そこには彼なりのロマンチズムがあることに気がつく。

なるほど、あのバッハ演奏の名手グレン・グールドが彼の作品を高く評価し、「ヒンデミットは現代の
数少ない真のフーガの名手である」と、彼の対位法技術の高さを評価し、ピアノ作品だけでなく様
々な楽器のソナタ、また歌曲等の録音を残しているというのもうなずける。

今回取り組むピアニスト北端祥人氏は、第6回仙台国際音楽コンクール第3位受賞後、室内楽
奏者としても共演者から信望が厚い。そんな彼にヒンデミットの魅力を尋ねてみると、以下のような
言葉が返ってきた。

「カオスの中にある秩序、周到に張り巡らされた伏線、現代的な建築美…彼の作品に触れ合ううち
に、そのような言葉が浮かんできます。」

ヒンデミットといえば、独特な、シャープで研ぎ澄まされた響きが特徴的だと思われるが、その背後
には、緻密に計算された構造美のようなものが秘められているのかもしれない。

優秀なヴァイオリン奏者でもあったことでも知られるヒンデミットだが、今回は第65回ARDミュンヘン
国際音楽コンクール弦楽四重奏部門 第3位に入賞し、ヴァイオリン奏者として第一線で活躍する中恵
菜氏のヴァイオリンによって、その魅力をたっぷりと堪能できることだろう。

彼女からもヒンデミットの魅力について以下のメッセージをいただいたので、是非、最後に紹介した
いと思う。

「ヒンデミットという作曲家はヴァイオリン奏者にとって、とても重要な人物であり、彼がヴァイオリンの可能性
を見出してくれたと言っても過言ではありません。彼の作品は理解しにくい部分もありますが、数学
的に構築されており、常に秩序が保たれています。楽譜からは目に見えるように建築的に書かれて
います。

そして、多くの楽器に対してたくさんの作品を書き、彼の人柄を調べていくとあらゆる事に神経が
行き届いており、新しい道を見つけ、突き進むものを感じます。まさに開拓者であると思います。ヴァ
イオリンという楽器は主にアンサンブルで活躍しますが、ヴァイオリンならではの素晴らしい作品をたくさん
残してくれた彼に感謝です!今回は皆様にヒンデミットの魅力をお伝えできればと思っています。」

オール・ヒンデミットというプログラムを通して、現代最高の作曲家の一人と目されるヒンデミットとい
う人物、その作品、その生涯の一端の謎解きを試みようではないか。 (美竹清花さろん)



123
Mitake Sayaka Salon (vol.85)



世界に通用する才能溢れる
「トップアーティストが
続々と集結!

大ホールのプラチナ席をしのご
生演奏の醍醐味、
一期一会で味わう圧倒的な臨在感。

日本のトップクラスの若手演奏家が、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。
美竹清花さろんが追求する“本物の音楽”は、
演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。

大好評につき
サロン・メンバーズ
追加募集中!



誕生。
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分
クラシック音楽サロン、



●お問い合わせ

株式会社 ILA (美竹清花さろん)
東京都渋谷区渋谷 1-12-8 (〒150-0002)
☎ 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)
070-2168-8484 (時間外可)
Fax 03 (3409) 0188

